

看護学部／看護学科	職名	教授	氏名	福田 和美
-----------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として集中治療室、外科病棟、呼吸器内科病棟での臨床経験のあと、佐賀大学大学院医学研究科看護学専攻（看護学修士）に進学し、手術を受けた乳がん患者の看護を行う看護師の共感に関する研究を行いました。その後大学教員になり、九州大学大学院医学系学府保健学専攻に進学し、術後せん妄患者の家族への看護に関する研究を行い、博士課程を修了しました（看護学博士）。現在は、術後せん妄の予防的ケアも含めたうえでの患者や家族の看護に関する研究を継続して行っています。また、成人看護学教育におけるシミュレーション教育の導入や効果的な教授方法についての研究も行っています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 福田和美,中尾久子, 村田和子 (2022) : 術後早期の看護ケアを行う看護師による家族に対する情報共有に関連したケア, *The Journal of Nursing Investigation*, 第 20 巻 1 号, p33-43, 2022.
- ・ 村田和子, 笹山万紗代, 福田和美, 大場美緒, 政時和美, 山口馨子, 中井裕子, 古庄夏香 (2021) : 成人急性看護学実習におけるシミュレーション教育を取り入れたハイブリット型学内実習の実践報告, 福岡県立大学看護学研究紀要, 第 19 巻, p90~105.
- ・ 山口馨子, 笹山万紗代, 大場美緒, 村田和子, 中井裕子, 福田和美 (2021) : クリティカルケア実習における看護学生の体験—フォーカス・グループインタビューの分析—, 福岡県立大学看護学研究紀要, 第 19 巻, p69~76.
- ・ 政時和美, 大場美緒, 古庄夏香, 中井裕子, 村田和子, 笹山万紗代, 山口馨子, 福田和美 (2021) : 学内での対面とオンラインを組み合わせた成人慢性看護学実習の取り組み, 福岡県立大学看護学研究紀要, 第 19 巻, p115~122.
- ・ 村田和子,福田和美 (2020) : 成人看護学におけるシミュレーション教育に関する文献検討, 福岡県立大学看護学紀要, 第 17 巻, p63-70.

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 山口馨子, 福田和美 (2022) : 看護場面における眼球運動計測機器を用いた観察に関する文献検討. 第 48 回日本看護研究学会学術集会 (愛媛 : オンライン).
- ・ 福田和美, 中尾久子 (2021) : 看護師が行う術後せん妄患者の家族への情報提供の現状, 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (愛知 : オンライン).
- ・ 村田和子, 福田和美 (2020) : 看護基礎教育における患者教育に関する文献検討, 第 46 回日本看護研究学会学術集会 (大阪市 : オンライン).
- ・ Kazumi Fukuda, Hisako Nakao (2020) : Experience of families visiting patients immediately after the operation, the 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Osaka : オンライン).

③過去の主要業績

- ・ 福田和美, 中尾久子 (2015) : 術後せん妄を発症した高齢患者の家族の体験, The Journal of Nursing Investigation, 第13巻1,2号, p 20-27.
- ・ 渡邊美保, 福田和美 (2014) : がん患者を対象とした全人的苦痛に対するタクティールケアの効果, 日本看護医療学会雑誌, 第16巻2号, p 40-48.
- ・ Kazumi Fukuda, Hisako Nkao (2013) : Effects of post-operative delirium of patients on family members and their response, The Journal of Nursing Investigation, 第11巻 (11, 2号), p 1-13.

3. 外部研究資金

科学研究費助成事業 (基金分) 基盤研究 (C) 令和2年~5年, 交付金額 3,120 千円, 研究課題: 情報提供を基盤とした術後せん妄に対する看護師と家族の協働的ケアプログラムの開発 (研究代表者)

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本クリティカルケア学会、日本がん看護学会、日本看護医療学会、日本老年看護学会、Sigma Theta Tau International、日本地域看護学会

6. 担当授業科目

<学部>

健康レベルと看護・1単位・1年生・後期、人間のライフステージと看護・1単位・1年生・後期、看護倫理学・1単位・2年生・前期、成人看護学概論・1単位・2年・前期、チーム医療・1単位・2年・前期、成人慢性看護学・2単位・2年・後期、成人急性看護学・2単位・2年・後期、成人看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期、成人看護学演習Ⅱ・1単位・3年・前期、成人急性看護学実習・3単位・3~4年・後前期、成人慢性看護学実習・3単位・3~4年・後前期、専門看護学ゼミ・1単位・3年・通年、看護研究・2単位・3年前期、統合実習・2単位・4年・通年、卒業研究・1単位・4年生・通年

<大学院>

Advanced 臨床薬理学・2単位・1年・通年、成人看護学特論・2単位・1年前期、成人看護学演習・2単位・1年後期、看護研究法・2単位・1年前期、終末期高齢者看護論・2単位・1年前期、ウイメンズヘルステ論・1単位・1年前期、ウイメンズヘルス演習・1単位・1年後期、臨床看護学特別研究・1~2年・8単位・通年、課題研究・1~2年・4単位・通年

7. 社会貢献活動

- ・ 福岡県看護協会 看護研究倫理審査委員会 委員長
- ・ 日本看護協会 第53回日本看護学会学術集会 抄録選考委員
- ・ The Journal of Nursing Investigation 査読者
- ・ 済生会福岡総合病院 特定行為研修管理委員会 外部委員

8. 学外講義・講演

- ・ 飯塚市立病院 看護過程研修会 講師
- ・ 飯塚市立病院 接遇研修会 講師

9. 附属研究所の活動等